



兵庫県の事業補助を受け、就業・起業のサポート事業を行なっています。厚生労働省認可「無料職業紹介所」です。

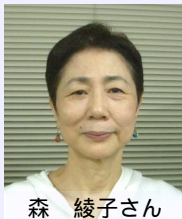
実績報告会の提案内容を具体化へ

初の生きサポ連携事業「地産地消プログラム」発進！

9月11日(木)に県内6ヶ所の「生きがいしごとサポートセンター(以下、生きサポ)」が県の所管部署に対して行った実績報告会。前半の報告部分は前号に掲載しましたので、今号では会の後半に行った生きサポ活動における今後の提案、そして具体的に動きつつある全生きサポの連携事業についてご紹介します。

全生きサポでの連携事業とスキルアップ

提案部分については、生きサポ阪神北を運営している宝塚NPOセンターの森綾子事務局長が担当しました。提案内容は、大きく分けて以下の3点でした。



森 綾子さん

生きサポの拠点について

生きサポがある地域にCBが多く誕生しているというデータはあるが、山間部や日本海側等の地域について、どう考えるのか。新たな拠点が必要か、その他の方策が考えられるのか、今後検討する必要がある。

生きサポ連携事業

6ヶ所の生きサポが連携することで、より効果的なサポートが行える事例もあるのではないかと。各生きサポが持っているネットワークやノウハウを活かしたイベント企画や連携事業の立ち上げを検討していきたい。

生きサポスタッフのスキルアップ

過去に起業支援をした団体は、運営支援の段階にきている。立ち上げ時の初期支援に加え、今後は第二創業や、継続して成長するための環境づくりなど、生き

サポスタッフにも高い支援スキルが求められている。全生きサポでの合同研修、ケース検討会などを開催し、時代ニーズにあったスタッフのスキルアップを目指していきたい。

“地域を元気にする仕事づくり”を再確認

前述の報告会での兵庫県側からの意見をふまえ、生きサポの今後の方向性の共有と提案内容を具体化していくために、10月7日(火)、全生きサポによる合同ミーティングを行いました。生きサポの使命は？、誰のために？など基本に戻っての議論を重ねました。

就業、起業、ボランティアなど、それぞれの生きサポによって比重や方針、相談者の傾向は様々ですが、「NPOやコミュニティビジネスで地域を元気にする仕事づくり」「お金だけじゃない働き方」「夢をかなえるお手伝い」など、共通のキーワードが確認されました。

生きサポ連携事業「地産地消プログラム」発進

報告会で提案した生きサポ連携事業については、さっそくミーティングの中で具体案の検討に入りました。すでにいくつかの生きサポでネットワークのある丹波・但馬地方をフィールドに定め、人材交流、農作物やクラフト製品等の流通や販売を生きサポ合同でコーディネートする、という構想が話し合われました。ある企業よりタイミングよく社会貢献プログラムとしての協力要請もあり、12月にはパイロットプログラムとして、ミニ講義付きの里山視察ツアーを実施することになりました。

企業、NPO、大学を巻き込んだ初の生きサポ連携事業「地産地消プログラム」、発進したばかりですが、今後の展開にどうぞご期待ください！



生きサポミーティングの様子

生きサポ
分布



- NPOにとってのビジネスチャンスはどう生かすか？ -

連続セミナー「NPOの今と将来を考える」、最終回の3回目は10月11日(土)に開催しました。講師は大阪市立大学大学院教授の柏木宏さん。CS 神戸との共同調査も含む豊富なデータ分析や研究に基づく、指定管理者制度の課題と解決に向けた講話であり、受講者の多くはNPO法人の運営に携わる人たちでした。以下、当日の概要をご紹介します。

指定管理者制度とは、公の施設の管理運営を自治体が民間の団体に委託する制度です。全国で施設が40万ヶ所ある中で、現在この制度が導入されているのは6万ヶ所余り、うちNPO法人が指定を獲得したのは1.7%にすぎません。公の施設には多様な分野があるため、多くのNPOにとってビジネスチャンスと言えます。

自治体は個別の施設毎に条例を制定・運用し、制度のポイントは次の通りです。経費を自治体が負担するか利用料でまかなうか、あるいは両者を組み合わせるか 指定管理者が公募されないこともある 毎年報告書提出の義務がある 自治体の監督がある、などです。獲得を希望する団体は、公募以前にかなり前倒しで準備期間が必要です。

ただ、獲得するためには団体ミッションとの整合性がまず大切であり、実行可能性の検討もあるそかにできません。場合によっては他団体と共同で申請することもあり得ます。

まとめとして、柏木さんから以下の提言がありました。「自治体として『当制度導入で住民サービスがさらに向上すること、指定管理者の収入や経費に関してきめ細かい配慮をすること』、NPO側は『指定獲得と運営管理のマネジメント力、サービス水準の維持、企業との協働、自治体への積極的な提言』などが必要。」

受講者からは、「経費削減が前提とされていないか？安価だけを求められるとNPO側が息切れする」「人件費を含んで自治体管理経費を公表すべき」「審査する自治体側がNPOを理解しているだろうか？」「この制度になっても、出向していた自治体職員は元に戻り減らない。行政全体の経費は本当に削減されているのだろうか？」など、活発な質問や意見が相次ぎました。



セミナーの様子 (右奥が柏木さん)

- 起業は計画書が命、良い計画書が人を動かす -

「体験者に学ぶ」目的で例年開催している「起業体験者セミナー」、今年度第2弾は9月18日(木)開催、講師は日本茶カフェ「一日(ひとひ)」オーナーの遠城 靖さん(54歳)です。カフェ激戦地区の東灘区岡本で開業して3年、珍しいお店の発想や経営の秘訣を学ばせていただくこと企画しましたが、打合せ段階でセミナーの中身は大きく方向転換しました。

「起業は事業計画書が命、単に経験を聴いても何も始まらない」が遠城さんの主張。受講者は事業計画書を持参し、講師や受講者同士で議論し中身を固めようということにしたのです。なかなか計画書を持参できる人は少なく、参加者は3人でしたが、一人ひとりの計画書を具体的に検討する会になりました。

受講者の計画は、ロボットによるサービス、事務処理代行業、無店舗カフェ。もっと具体性を！、採算は？といった質問やアドバイス、受講者相互の助言などが飛び交いました。各人、さらに計画を具体化する意欲が高まったようです。

後半は、遠城さんの計画書を見ながら、事業計画に必要な視点、ポイントを学びました。脱サラ後、調理師学校に通う一方、商工会議所のセミナーで事業プランの書き方を学んだそうです。「プランがしっかりしていたので開業資金の借入れもスムーズだった。周りの人を巻き込み動かすには出来のいい計画書を作ること。」遠城さんが繰り返し伝えたかったのはそのことです。

「計画書を作ると、自分の頭の中ですっきりする。何が出来て何が出来ないか、プランが具体的になっていく。ただし、数値はきっちり押さえましょう。どこで利益を得るか、それを明確にすることが大切。」遠城さんの閉講の言葉でした。



セミナーの様子 (中央奥が遠城さん)

こんな人を求めています

地域貢献やコミュニティの形成につながる仕事を紹介しています。
求人票の登録大歓迎。既に就業が成立した場合はご了承下さい。

No	求人団体名	職種	条件(勤務地/勤務日/勤務時間/給与/その他)
B-586	NPO法人 ライフ・ケア協会	高齢者、障がい者の 在宅生活支援	御影で30年、地域の高齢者、障がい者の在宅生活支援をしている 団体です。 最寄駅 阪神御影 資格 不問(ヘルパー2級、介護福祉士あれば 尚良) 勤務日時 月～金曜日 9:00～17:00 で応相談 給与 時給760～1,200円 交通費実費 保険 雇用
B-589	ART株式会社	経理実務全般 (決算、税務申告、有価 証券報告書作成等)	最寄駅 阪急伊丹 経験・能力 経理実務経験 勤務日 月～ 金曜日 勤務時間 9:00～17:00 給与 年収550万円以内 賞与年2回 交通費実費 保険 健康・厚生・雇用・労災
B-591	結城 カルチャーセンター	カルチャー教室の 受付事務、 講座企画運営 など	趣味や教養を提供する場で、人々との楽しい出会いがあります。火 曜日は夙川教室、水木金曜日は芦屋教室です。 最寄駅 JR芦屋、さくら夙川 経験・能力 パソコン操作 勤務日 火～金曜日(月1回土日出勤あり) 勤務時間 13:00～ 20:00 給与 時給850円 交通費上限10,000円/月 保険 健康・厚生・雇用・労災 試用期間3ヶ月
V-105	NPO法人 MCままーず	保育ボランティア	コープこうべ子育てサポーター「遊ばせ隊」として活動した10年間の 経験を活かし、より広くより深い子育て支援を目指しています。資格 や経験は問いません。子どもが大好きな方、私たちと一緒にふれあ いませんか?! 最寄駅 JR甲南山手 活動日時 月・木曜日 10:00～15:00で 2時間程度 謝金 1日1,000円(交通費込み)
V-107	ひと休み こざくらちゃん	食事会のお手伝い (お掃除、料理の手 伝い、お客さんのお 話し相手など)	毎週木曜日11時～16時くらいまで、誰もが気軽に立ち寄れる居場 所をオープンしました。知り合いの家でご飯を食べ、お茶を飲むよう なスペースです。 最寄駅 阪神/阪急今津 活動日時 木曜日10:30～15:00(応 相談) 謝金・交通費 なし(ただし、ランチ付)

こんな仕事や職場をさがしています

就業先をお世話いただける方は、
ワラビーまでご連絡を!

No	お名前	こんな仕事をさがしています	ひとことメッセージ
089	Oさん(男・24才)	販売など	小さな店舗で、じっくりと取り組める接客や販売の仕事がしたい
090	Oさん(女・56才)	事務職	講習を受け、スキルアップできたパソコンを使って働きたい
097	Fさん(女・61才)	週2～3日の仕事	スキルを活かせるPC関連や障がい者の支援などがしたい

起業情報

ご自身も起業を考えるなど、ご興味がある方は、ワラビーまでご連絡ください。

No	お名前	事業内容	実施地域	ひとことメッセージ
028	Yさん(44才)	若者の就労支援	神戸市	職人を育てるようなフリースクールを立ち上げたい
070	Nさん(43才)	心のケア	神戸市	悩みや心の病を抱えている人たちのカウンセリングをします

重点ポイントに絞った「会計セミナー」開催のお知らせ

NPO団体で会計・経理を任されているものの、これでいいのか、誰に聞けばいいのか...と日々悩みながら実務をされている方は少なくありません。そんな担当者の日頃の悩みを解決するため、NPO独自の、また、一般的な会計でも同様に疑問を抱きやすい項目を中心に会計事務のスキルアップのためのセミナーを開催します。

分かりやすい説明が好評の講師が、NPOの税務に関する基本的な考え方を、2回目以降はすぐに役立つ会計実務について丁寧に解説します。

NPO法人や団体の会計に携わっておられる方は、この機会にぜひご参加ください。

月日	時間	テーマ	講師
11月 8日(土)	14:00	NPOの税務について	櫻井 繁樹(税理士)
11月15日(土)		給料、社会保険・労働保険の会計処理	
11月29日(土)	15:30	年末調整について(1)	荻野 俊子 (NPO会計支援センター代表)
12月 6日(土)		年末調整について(2)	

<受講料> 1回 1,000円 *全講座お申し込みの方は、3,500円になります

お申込み...まずはお電話ください!! 078-841-0387 担当:狩野・飛田

リレーエッセイ(43)「私の生きがいごと」

NPO法人 月と風と

松下 雅弘さん(尼崎市・53才)

高校卒業後、薬局に勤め、薬種商の資格を取って30歳の時に自分の店を持ちましたが、売り上げが伸びず廃業、その後は中央市場、動物の移動火葬の仕事等を転々として生計を立てていました。マンションの夜間警備の仕事に就いていた時に、住民の方から「来年、有料老人ホームをオープンするので働いてほしい」という要請があり、17時～翌8時半までの仕事をしながら勉強し、ヘルパー2級の資格を取得しました。これが福祉の仕事との出逢いでした。

有料老人ホームに勤めながら、もっと多くの経験を積みたいと考え始めた頃、以前に知人から聞いていたワラビーの存在を思い出し、事務所に伺ったところ、「NPO法人月と風と」を紹介してもらいました。「月と風と」は“障がい者と地域をつなげる”ことを目的に、ヘルパー派遣事業や様々な地域イベントを行っています。私はそこで、登録ヘルパーとして週一回利用者さんのご自宅で様々なお手伝いをしています。バイタリティ溢れる若いスタッフが多く、アットホームな雰囲気も気に入っています。

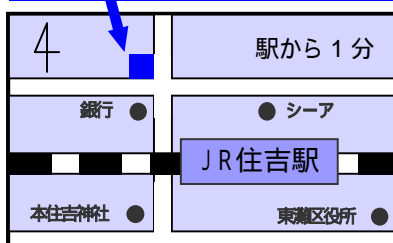
老人ホームの仕事と合わせるとほとんど休みもない毎日ですし、以前の職場の上司からは「今さらなぜそんなしんどい仕事をするのか」と言われましたが、自分では本当にしたい仕事が見つかったと思っています。高齢者や地域の方々の居場所も兼ねたグループホームをつくる、という将来の目標もでき、夢に向かって勉強の毎日です。



NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)

生きがいごとサポートセンター神戸東 (愛称:ワラビー)

生きがいごとサポートセンター 神戸東
(森田ビル3階)



〒658-0051

神戸市東灘区住吉本町2-13-1 森田ビル3階
(JR神戸線「住吉」駅北西すぐ)

TEL: 078-841-0387

開室日: 月曜日～土曜日(日・祝休み)

開室時間: 9:30～17:30

「生きがいごとサポートセンター」事業は、他に「阪神北」、「阪神南」、「神戸西」、「播磨東」、「播磨西」があります。詳しくは上記までお問合せください。

編集後記

週に1回、地域の作業所から地元の野菜を配達してもらっています。端境期で野菜が少なかったのが、先日“芋のつる”が入っていました。「はだしのゲン」を思い出しながら、きんぴらにし、おいしくいただきました。「お腹いっぱい」が当たり前になりがちな毎日の中で、食べられることへの感謝の気持ちを思い出させてくれました。(A)

